

2024 第 1, 2, 3RUTC 答えの永遠 (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr

2024 元旦祈り会

3 講 永遠の遺産－挑戦しなさい (使 11:19)

講師 : 柳光洙牧師

日 場所 : 2024 年 1 月 1 日/インマヌエル (ソウル) 教会

24.1.1 2024 元旦-3		ヨハ6:63 - マタ6:10, 33, 10:7, マタ12:28-30, 使1:3, 使19:8, IIIヨハ1:2		
		永遠の受け継ぐこと 待ちなさい 1:1-8	永遠の作品 集中しなさい 1:14, 2:1-47	結 - 24 25 00
序 - 霊的世界 無限大		永遠の遺産 - 挑戦しなさい 11:19		
		本		
1. 霊的受け継ぐこと	3. 霊的遺産	1. パウロ(チーム) - 受けた遺産	2. 使用した遺産	3. 伝達した遺産
1) 7やぐら - 疎通	1) 237	1) 9:15	1) 13:1-4, 5-12	1) 使17:1
2) 7旅程 - 計画	2) 5000	19:8	2) 16:6-10	2) 使18:4
3) 7道しるべ-みことば	3) 1千やぐら	2) ピリ3:8-21	16:15	3) 使19:8
2. 霊的作品		3) ロマ16:25	16:16-18	
1) 三つの祭り	霊的状态	26	16:19-40	
2) 三つの庭	霊的サミット	27	3) 19:1-7, 8-20	
3) 金土日時代			19:21	
				1. 音楽チーム
				2. 体育チーム(サッカー)
				3. 癒やしチーム
				1. OURS
				2. 時空超越 (237-5000)
				3. 空前絶後

聖書 : 使徒の働き 11:19

19 さて、ステパノのことから起こった迫害により散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで進んで行ったが、ユダヤ人以外の人には、だれにもみことばを語らなかつた。

要約

聖書は三つに区分することができる。未信者が見ても理解できる部分がある。二つ目に救われた者だけが理解できる部分がある。創 3:15、女の子孫、蛇の頭を打つ、血のいけにえ、こういうものは救われた人だけが理解できることだ。三つ目、救われた者もよく理解できない部分がある。それをイエス様がオリーブ山で語られたのだ。

ヨハ 6:63 - マタ 6:10, 33, 10:7, マタ 12:28-30, 使 1:3, 使 19:8, IIIヨハ 1:2

生かすのは霊で肉は無益なのだ。五つのパンと二匹の魚の奇跡以降、イエスが弟子を静かなところに連れて行って語られた。祈るのは、神の国が臨むように祈りなさいと(マタ 6:10)。あなたがたは、まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、すべてのことが加えて与えられる(マタ 6:33)。伝道しに行って他のことをせず神の国が臨んだと話しなさい。天国が近づいたと話しなさい(マタ 10:7)。聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国が臨んだのだ(マタ 12:28-30)。それから、オリーブ山に呼ばれて 40 日間、神の国のことを説明された

(使 1:3)。この言葉を分かった人がパウロだ。大胆に神の国について説明した。Ⅲヨハ 1:2 で、あなたのたましいが幸いを得ているように、すべてが健康であるようにと順序を話した。この話をわかってこそ、世界福音化が可能になる。

永遠の受け継ぐこと 神様が与えられた永遠の受け継ぐことをあなたのことにしなさい。

待ちなさい 待ちなさいと言われた。約束されたことを待ちなさいということだ。この永遠の受け継ぐことが私に臨む必要がある。そのときから物事になるのだ。

使 1:1-8 イエスが待ちなさいと言われた。約束したことを待ちなさいと言われた。

永遠の作品 を作りなさい。

集中しなさい 集まって集中しなさい。待ちなさい。約束したことを待ちなさい。ただをしなさい。それが集中だ。

使 1:14、使 2:1-47 集中しなさいとイエス様が言われたが、この契約を持ってマルコの屋根の部屋で働きが起った。

永遠の遺産 - 挑戦 永遠の遺産を残しなさい。それゆえ、挑戦しなさい。

使 11:19 とてつもなく大きな挑戦だ。アンティオキア教会に行けば死ぬ。しかし、永遠の遺産を残さなければならぬので、神様が祝福された。

□序論_靈的世界

無限大 この靈的世界は神様の世界なので無限大だ。

1. 靈的に受け継ぐこと

- 1) **7 やぐら - 疎通** 神様の7つのやぐらを持っている人。祈りの人。神様と通じる人。祈りを知っている人。どこにいても祈りができる人。7つのやぐらだ。このことが靈的に受け継ぐことだ。
- 2) **7 旅程 - 計画** 7大旅程をなぜ進むのか。神様の計画を悟った人。これが靈的に受け継ぐことだ。
- 3) **7 道しるべ - みことば** 7つの道しるべは何か。神様のみことばが成就することだ。

2. 靈的作品

- 1) **三つの祭り** ここで三つの祭りが出てきた。五旬節の日になって。それが三つの祭りを背景にしたことだ。ここに15か国が集まった。
- 2) **三つの庭** ここに集まって集中的に祈ったのだ。
- 3) **金土日時代**

3. 靈的遺産

やぐら 永遠のやぐらを建てなさいということだ。

- 1) **237** 237か国を生かすほど、神様が与えられたことでやぐらを建てなさい。237か国を生かすほど大きな実力を備えなさい。祈りが分かれば良い。
- 2) **5000** これが神様のみこころだ。
- 3) **1千やぐら** 教会の外に1千やぐらを建てるほど、教会の中で準備しなさい。

靈的状态 これが優先だ。結局は、皆さんが考えるだけ答えられる。

霊的サミット だれも奪っていくことはできない霊的サミットに先になりなさい。霊的サミットになれば、この中から出るので、世界征服が可能になるのだ。

RT7 霊的サミットから先になったのが7人のRTだ。

口本論

1. パウロ(チーム) - 受けた遺産

- 1) 使 9:15、19:8 イスラエルと異邦人と王たちの前に立てるために選ばれた器が自分であることをパウロが分かった。それゆえ、神の国について大胆に3か月の間説明した。
- 2) ピリ 3:8-21 パウロは自分が持ったものをちりあくたとして、損と思うと言った。そして、キリストの手で捕えられたこと、それを捕らえに行くと言った。完全に霊的な永遠の遺産を握ったのだ。
- 3) ロマ 16:25、26、27 世々にわたって隠されていた福音が、今や私に明らかにされて、とこしえまである契約だ。永遠。永遠ということで結論が出る。

2. 使用した遺産

- 1) 使 13:1-4、5-12 どのように、この永遠の遺産を使用したのか。仕事や伝道が先ではない。完全に聖霊の導きを受けるために祈って、医師も治せない患者を治した。永遠の遺産を使用したのだ。
- 2) 使 16:6-10、15、6-18、19-40 門が閉ざされたが、神様がマケドニアへ。行ってすぐにリディアに会った。このような出会いの祝福が与えられるのだ。その後、医師が治すことができない病気を治して、刑務所で働きが起こった。
- 3) 使 19:1-7、8-20、21 マルコの屋上の部屋で起こった力をそのまま体験して、ティラノで多くの病人を治した。その後、ローマも見なければならぬと言った。

3. 伝達した遺産

- 1) 使 17:1 会堂で、なぜこの祝福でなければならないのか、なぜキリストでなければならないかを説明した。
- 2) 使 18:4 安息日、礼拝、祈りが何なのかを説明した。
- 3) 使 19:8 会堂でまことの答えは神の国が先に臨むことだと説明した。皆さんの会社に暗闇が砕かれる神の国が先に臨まなければならないのだ。

口結論_ 24・25・00

この契約を握ってそのまま24すれば良い。すると25の答えが来る。永遠の作品が残る。

1. 237-5000、癒やし - サミット 本格的に237、5000種族を癒やしてサミットにする。

2. 三つの庭 教会の中に三つの庭を作る必要がある。

3. 金土日時代 金土日時代を開いて、元旦1講、2講、3講を教えれば良い。まことの力を受けて世界を生かす人々に説明するのだ。

音楽チーム 公演チームを作って 5000 種族を呼び入れて、行って動くのだ。

体育チーム サッカー 体育チームの中でもサッカーが世界的に通じる。

癒やしチーム 最もよく準備されている。霊的な永遠の事を受け継ぐこととして、作品として、遺産として与えられた理由は、無限世界に向かって挑戦しなさいということだ。霊的世界は無限の世界だ。すると、癒やしチームが出て来るだろう。

この三つが 5000 種族を実際に生かすチームだ。

1. **OURS** 無限世界という霊的な力を受ければ、ただということが出てくる。他の人が知ようになる唯一性が見える。だれも止められない再創造が出て来る。これがシステムになる。

2. **時空超越 (237-5000)** 時空超越する力が生じる。この言葉が分かってこそ、祈りが何かが分かる。祈りが可能ならば、237、5000 種族とつながることができる。

3. **空前絶後** 空前絶後の答えが来る。挑戦しなさい。レムナントに神様は空前絶後の答えを備えておかれた。

全文打ち出し訳

ありがとうございます。聖書は三つに区分できます。未信者が見ても「すばらしい」このような部分があります。未信者が見ても理解できる部分があります。そのような信徒が多いです。単に教会を行き来する信徒がいます。霊的な力はありません。聖書は二つ目に、救われた者だけが理解できる部分があります。血のいけにえ、ですから、ファラオは、理解できなかったのです。救われた人だけが理解できる部分です。創世記 3 章 15 節「女の子孫。蛇の頭を打つ。血のいけにえ」これは救われた人だけが理解します。そのような教会信徒も教会にはいます。「私は救われたので感謝します。神様、私に答えてください。祝福してください」聖書には、救われた者も理解がよくできない部分もあります。特に世界福音化する人だけが理解できる部分があります。そのことをイエス様がオリブ山で言われたのです。皆さんがどの段階にいるのか、はやくキャッチする必要があります。未信者が理解する段階にいれば、未信者の水準です。「あの人がなぜあんな状態なのか」このような水準です。試みにあう水準です。「私は、以前に教会に通ってみた」このような水準です。そのような人が多いです。水準が未信者の水準です。ところで、救われた人は「神様、私を救ってくださったことを感謝します」こう言うでしょう。それは、救われた人だけが理解できることだという話です。ところで、イエス様は最後のとき、その上のことを話されたのです。世界福音化する人に言われた言葉です。

ヨハ 6:63 - 「生かすのは霊で、肉は無益だ」そう言われました。これはものすごいメッセージです。五つのパンと二匹の魚で 5 千人が食べて残ったので、人々が感動を受けたのです。そのような信徒もいます。また「これは、イエス様、すごいね」そのような信徒や弟子もいます。それゆえ、イエス様が連れて行って、静かな所に行って言われました。「これが何が重要なのか。荒野でマナを食べなかったのか。それがすべてなのか。生かすのは霊で、肉は無益だ」では、するとイエス様が言われたみことばを一度詳しく見てください。皆さんが本当に答えを受けようとするなら、世界福音化しようとするなら、イエス様が、まことに語られたみことばを聞く必要があるでしょう。

マタ 6:10、33、10:7、マタ 12:28-30

「祈るときには『御国が臨みますように』と祈りなさい」「他のことはしなくても良い。あなたがたは、まず神の国と神の義とを求めなさい」これはだれでも分かって聞く話ではありません。「そうすれば、あなたにす

べてのことは加えて与えられる」マタイ 10 章 7 節には「伝道しに行って、他のことを言うのではなく『神の国が臨んだ』と言いなさい。『天の御国が近づいた』と言いなさい。聖霊が臨んでサタンが縛られれば、神の国が臨んだのだ」

使 1:3、使 19:8、Ⅲヨハ 1:2

それからオリブ山に呼んで、40 日間、神の国のことを説明されました。この言葉を分かった人が出て来たのです。パウロです。ティラノで会堂で 3 か月の間、大胆に神の国について説明しました。ヨハネは、このように説明しました。Ⅲヨハネ 1 章 2 節に「あなたのたましいが幸いを得ているように」そう言いました。「あなたのたましいが幸いを得ているように、あなたがすべての点で幸いを得」そのあとに「また健康であるように」順序をこのように言いました。3 拍子ではなくて、順序です。

では、この言葉を分かってこそ、世界福音化が可能なのです。皆さんがやっと食事ができて、行くこともできます、神様の前に。何の力もないのに世界福音化して行くこともできます。未信者のように教会に来て、いろいろな世の中の話もして行くこともできます。三つの中の一つです。皆さんはこれを選択する必要があります。

[永遠の受け継ぐこと（嗣業）][待ちなさい]

ここで重要なことが出て来ます。「神様が与えられる永遠の受け継ぐこと（嗣業）をあなたのことになさい。これができる前にはしないように」と言われました。「待ちなさい」そう言われました。待つということは、じっとしていなさいということではなく、約束されたことを待ちなさい。この永遠の受け継ぐことがあなたに臨む必要があります。そのときから物事がなるのです。

[使 1:1-8]

これが 1 講です。使徒 1 章 1 節から 8 節にイエス様が言われました。イエス様が待ちなさいと言われました。単に待つのではなく、約束したことを待ちなさいと言われました。

[永遠の作品][集中しなさい]

永遠の作品を作りなさい。集まって集中しなさい。待ちなさい。約束したことを待ちなさい。ただをしなさい。ただ。それが集中でしょう。イエス様のみことばです。

[使 1:14、2:1-47] - 2 講

集中しなさいとイエス様が言われたのですが、この契約を持ってマルコの屋上の部屋に働きが起こりました。良いでしょう。

[永遠の遺産 - 挑戦][使 11:19]

今日 3 講です。永遠の遺産を残しなさい。そして、挑戦しなさい。聖書箇所はどこでしょうか。使徒 11 章 19 節です。とてつもなく大きな挑戦です。そうでしょう。「ああ、私は教会のために試みにあった」そのような人々は、ここに（永遠の遺産 - 挑戦、使 11:19）行けません。ここに行けば死にます。ところが、死ななかつたのです。他のところがすべて大飢饉になっても、この教会だけ神様が祝福されました。教会に行けば食事ももらえますか。食事を与えます。他のところみな飢え死ぬほどになったのですが、アンティオキア教会だけ、神様が他のエルサレム教会を助けるように祝福されました。なぜでしょうか。永遠の遺産を残さなければならぬからです。

この（1 講、2 講、3 講）三つですべてです。教会に行き来する人は、理解する必要がないでしょう。「いや、私

が救われれば良いので」そのような人が分かって聞く必要はないでしょう、これを。そうでしょう。それでこの場には、イエス様の恵みを受けて病気が癒されたという人はいません。五つのパンと二匹の魚でパン食べた人、ここにはいません。そうでしょう。中風患者も生かして、悪霊につかれた者も生かしたのですが、その人々は、ここにはいません。少なくとも、この三つを知っている人が集まったのです。神様が、このときから、まことの答えを与えられるのです。では、契約を正しく握る必要があります。自分勝手に聖書を解釈します。未信者も理解できることを信じる人は、それで解釈します。「救われれば良い」という人は、救いについてだけ説明をします。イエス様は皆さんが世界を征服して、世界を生かすように呼ばれました。

口序論_霊的世界[無限大]

ものすごく大きな霊的世界を話されました。この霊的世界は、神様の世界であるから無限大です。これから見てください。皆さんがこの契約を握ったとき、どんなことが起こるか見てください。私たちのレムナントを通して、どんなことが起こるか見てください。

今回、また、釜山で新天地が私たちの教会を攻撃して「イ・ソンフン牧師、出て行きなさい」新天地が勘違いしたようです。なぜなら、イ・ソンフン牧師がすごい牧師だと思って「イ・ソンフン牧師は出て行きなさい」ほんとうに、食事する以外することがない人々がとても多くて…見ていてください。どうなるのか結論を。嘘も言います。私たちの教会、今、昨日も教会の信徒が来れば、遅く来たら席がありません。大きな嘘。「イ・ソンフン牧師が教会の席ががらんと空いた。インマヌエル教会!だからイ・ソンフン牧師をはやく追い出せ」と言いながら。分からないのでしょうか。この霊的世界は無限大です。

1. 霊的に受け継ぐこと

そこで「永遠の受け継ぐこと」これは何のことなのかというと、霊的に受け継ぐことです。そうでしょう。肉的に受け継ぐことは、世の中の人々がすべてすることができることですが、霊的に受け継ぐことを言います。

1) 7やぐら - 疎通

神様の7つのやぐらを持っている人、祈りの人。神様と通じる人。祈りができる人。どこにいても祈りができる人。7つのやぐらです。これが霊的に受け継ぐことです。

2) 7旅程 - 計画

7大旅程になぜ進むのでしょうか。神様の計画を悟った人。これが霊的に受け継ぐことですから。

3) 7道しるべ - みことば

7つの道しるべは何でしょうか。神様のみことばが成就すること。それで良いでしょう。

2. 永遠の作品

永遠の作品というは何でしょうか。肉的な作品ではなく、霊的作品を言うのです。

1) 三つの祭り

ここで三つの祭りが出て来ました。「五旬節の日になって」それがもう三つの祭りを背景にしたことです。ここに15か国が集まりました。

2) 三つの庭

三つの庭。ここに集まって集中的に祈るのです。

3) 金土日時代

このように、解釈が出て来るのです。

3. 永遠の遺産[やぐら]

そして、永遠の遺産ということは、霊的遺産を言います。これは何のことかという、永遠のやぐらを建てるということです。何になるほどでしょうか。

1) 237

237 か国を生かすほど、神様が与えられたことでやぐらを建てなさい。レムナントはだまされしないでください。237 か国を生かすほど、実力を備えなさい。基準。できます。祈りが分かれば良いのです。この受け継ぐことを味わえば良いのです。この作品を作れば良いのです。

2) 5000

教会に行って、しばしばたわごと、間違っただけの声を聞くのではなく、5千種族を生かすほど準備しなさい。これが神様のみこころです。

3) 1千やぐら

教会の外に1千やぐらを建てるほど、教会の中で準備しなさい。ダビデは一人で作りました。

[霊的状态]

簡単に話せば、霊的状态が優先です。結局は、皆さんが考えている分、答えを受けます。そうでしょう。皆さんの水準に応じて話すようになるでしょう。そうでしょう。仕方ありません。それが運命です。私が考えているだけ、答えられるということ。

[霊的サミット]

それゆえ、皆さんにレムナントに、神様が何を言われるのかということ、だれも奪っていくことはできない霊的サミットに先になりなさい。これです。

私たちの今、学生たちがいますが、学生たちが、私は判事や検事になる、医師になる、教授になる、たくさんあるでしょう。今ここに(1講、2講、3講序論)ある部分を知らずに出て行けば、疲れ果ててしまいます。時間がありません。判事、検事が遊んでいる人だと思いませんか。時間がありません。皆さんは判事や検事についてむやみに話しますが、その人たちは睡眠もとらずに仕事をしなければなりません。そうでしょう。競争しなければなりません。昇進しなければなりません。問題が生じれば、また責任を負わなければならない。信仰生活する時間がありません。このこと(板書内容全体)備えることができないでいれば。これを備えてしまえば、この中から出ることで、世界征服が可能なのです。

[RT7]

これが RT7 人でした。では、ヨセフは掃除が上手だったのでしょうか。ヨセフが監獄で仕事を良くしましたか。それは結果です。ファラオが話したではないでしょうか。「神の霊が宿っているこのような人が、ほかに見つかるだろうか」そう言いました。「エジプトの総理をさせなさい」王の命令です。霊的サミットから先になってしまう必要があります。

口本論

では、逃してはなりません。よく見てください。

1. パウロ(チーム) - 受けた遺産

パウロとそのチームが受けた永遠の遺産です。パウロとパウロチームが受けた遺産が、永遠の遺産です。それは何でしょうか。

1) 使 9:15、19:8

パウロに「イスラエルと異邦人と王たちの前に立てるための器だ」では見てください。パウロが分かったのです。19章8節に「神の国について大胆に3か月の間説明した」では、この霊的遺産が何か知っていたのでしょうか。

2) ピリ 3:8-21

パウロの話聞いてみましょう。ピリピ3章8節で21節「私は勉強もたくさんした。私は家もベニヤミン部族です。私は世界文学都市の中の一つであるキリキア・タルソ出身です。私は最高の職責を持っているパリサイ人です。当代最高の学者ガマリエルの下で勉強しました。これを恥ずかしく思う」こう言いました。なぜか。

「そのために私が傲慢になって、真理をみな逃した。私には霊的問題が来た。イスラエルは滅びようになった。ちりあくただと思う」こう言いました。「損と思っている」では、霊的なことを正しく悟ったでしょう。そして何でしょうか。「私が何かした、学んだ、違う。キリストの手で捕えられたこと、それを捕らえに行く」完全に霊的な永遠の遺産を今、握ったのです。「地で与える賞、そのようなことみな受けた。上から与えられる賞のために走って行く。ローマの国籍、持っている。それは違う。天の国籍が私たちにあるだろう」これで良いでしょう。何の話でしょうか。普通の人には分かることもできません。他の使徒たちは分かることもできないこの話です。これが世界征服すべき人だけが分かります。少しペテロはあまり分かりませんでした。それゆえ、神様がパウロを用いられたのです。

3) ロマ 16:25、26、27

もう一つ見てみましょう。世々にわたって隠されていた福音が、今、私に皆さんに明らかにされたのです。とこしえまである契約です。では、永遠。この永遠ということで結論が出ます。

2. 使用した遺産

パウロがまた、何をしたかという、パウロそのチームが。この永遠の遺産を使用したのです。受けた遺産だけあるのではなく、この遺産を使用したのです。

1) 使 13:1-4、5-12

どのように使用したのか見てください。仕事は先ではありません。伝道が先ではないでしょう。完全に聖霊の導きを受けるために祈ったのです。そして、医師も治せない患者を治したのです。永遠の遺産を使用したのです。

2) 16:6-10、15、16-18

私が決めるわけではありません。門が閉ざされたのですが、神様がマケドニアに。行ってすぐにリディアに会いました。では、このような出会いの祝福を与えられるのです。リディアに「主がリディアの心を開かれて」このようになったでしょう。いよいよ医師が治すことができない病気を治してしまいました。刑務所でまた、働きが起きました。この今、何を話しているのでしょうか。神様が与えられた永遠の遺産を使用したのです。

3) 19:1-7、8-10、19:21

使徒19章1節から7節。マルコの屋上の部屋で体験した力をそのまま体験します。そして、ティラノで多くの病人を治します。その後「ローマも見なければならぬ」そうです。

3. 伝達した遺産

その程度ではありません。永遠の遺産を伝達したのです。このパウロがです。それがどこでしょうか。

1) 使 17:1

使徒 17 章 1 節で会堂で。なぜこの祝福でなければならないのかを説明しました。なぜキリストでなければならないのかを説明しました。

2) 使 18:4

18 章 4 節に安息日が何か、礼拝が何か、祈りが何かを正しく説明しました。

3) 使 19:8

会堂でまことの答えは何か、説明しました。まことの答えは、これ(目に見えること)から来るものではありません。神の国が先に臨むことです。そうでしょう。皆さんの会社に暗闇が砕かれる神の国が先に臨む必要があるでしょう。

この(本論)三つです。絶対に逃してはなりません。

□結論_ 24・25・00

それゆえ、この契約を握ってそのまま 24 すれば良いのです。そのまま、続けて祈ります。時間も決めないでください、そのまま。運動も本当にする人々を見れば、走って静かにする、そのようにしません。着実にそのまま。この間、私たちの総会の集いをしたとき、チョン牧師が出てきて腕立て伏せを 50 回しました。私が大変なことになったと思いました。チョン牧師をまねると、骨が折れる。だれもが、まねをしてはなりません。老いてしたら、間違っただけで骨が折れるのです。そのまま着実にしてください。人々の話を聞かずに、1 時間すべきだ、数時間すべきだ、そういう話を聞かずに、したらそれだけ益です。5 分をしてもかまわなくて。祈りも同じことです。時間があるままして、そのまま。24。時間があるまま、この(777)祝福を味わうのです。私はこれを持って時間があれば、続けて祈ります。今日も一日中そのまま続けています。すると答えが来ます。25。皆さんの作品が永遠のことが残ります。永遠。では、今年の祈りの課題を皆さんが堅く握る必要があります。

1. 237 - 5000 癒やし - サミット

今年は本格的に 237、5 千種族を癒やしとサミットにすることを本格的にすべきです。

2. 三つの庭

そして、教会の中に三つの庭を作る必要があります。

3. 金土日時代

そして、金土日時代を開く必要があります。

何をすべきでしょうか。1 講、2 講、3 講を教える必要があります。そうでしょう。私たちが、私たちの次世代に、やっと生活できるように教える良いでしょうか。会社に行って、やっとやっと大変で。事業してもやっと大変で。牧会をしても大変で。そのようにして良いでしょうか。1 講、2 講、3 講、重要です。これ

は私の話ではありません。イエス様が強調されたのです。救われていない人のために説明するものではありません。そうでしょう。「単に私は教会だけ通えば良い」その人のために説明したことではないということです。本当の力を受けて、世界を生かしなさい。その人々に説明したことなのです。これをパウロが正しく、ピンと来たのです。神様がパウロと、彼とともにしたすべての人に働かれました。

[1. 音楽チーム]

それゆえ、少し参考に皆さんがすべきことは、少し祈り始めてみてください。皆さんの教会でもそのようにして、私たちの教会でもちょっと準備をすれば良いです。二つのことをすべきです。私たちのこの場所は、後ろに空いたところが多いです。そのような所をみな楽屋として使えば良いです。ここで公演ができる必要があります。そして、私たちの中には、韓国舞踊分野で1番になった教授もいます。そうでしょう。何か見せる公演チームを作りなさい。そして、5千種族を呼び入れて、行って動くのです。音楽チームです。

[2. 体育チーム(サッカー)]

そして、特に私がサッカーの話をしたでしょう。体育チーム。

[3. 癒やしチーム]

癒やしチーム。

この三つが5千種族を実際に生かすチームです。私が見るのに、この三つのチームができるのが私たちの教会の中に、また、私たちのタラップンをする教会の中にもあります。そうでしょう。それゆえ、体育チームの中でも、テコンドーこういうものも重要で、うまくいくことができるでしょう。しかし、テコンドーよりもっと多く人気があるのがサッカーです。癒やしチームのような、このような部分は、すでに私たちが一番よく準備されているようです。すれば良いのです。この話は何の話でしょうか。霊的な永遠のを受け継ぐこととして、作品として、遺産として与えられた理由は何でしょうか。無限世界に向かって挑戦しなさい、その話です。霊的世界は無限世界です。そうすると、このように出て来るでしょう。

1. OURS

最初、何が出て来るのでしょうか。無限世界へ霊的な力を得てしまえば、皆さんに、ただということが出て来ます。このときから、他の人が知るようになって。唯一性ということが見えます。もう、だれも止められません。再創造ということが出て来て。これがシステムになります。このようなことが出て来ます。

2. 時空超越 (237 - 5000)

二つ目に何が出て来るのでしょうか。いよいよ時空超越する力が生まれます。時空超越ということが分かってこそ、祈りが何か知っている人です。祈りが何か分かれば、237、5千種族につながる事が可能なのです。世宗大王を見て、昔に「これから少しすれば、みなそれぞれ電話機を持っているでしょう」そう言ったら、世宗大王は「オイ、お前は狂ったのか」こう言ったでしょう。今、みな持っているでしょう。クラウン・ベルという人が「あ、私達が会わなくても連絡できる道がある」「どのようにか」「会わないでどのようにするのか」「電話機を作り出せば良い」それゆえ、その人の名前を取ってベルと言ったのです。祈りを分かれば 237、5千種族の疎通が可能です。

そのときから、多くのことの中に、特に来る答えを言います。

3. 空前絶後

空前絶後の答えが来ます。挑戦してください。レムナントに神様は空前絶後の答えを準備しておかれました。見つけなさいということです。今年、年を取っている方々もだまされずに。年を取っているではありません。

神様は皆さんに空前絶後の祝福を備えておられます。モーセが「私はもう行くことができません」この言葉は正しい言葉です。そうでしょう。自分の年齢を考えたのです。「できません。今、私はだめです」モーセが言ったことです。神様は始まりもしなかったのに。年を取れば、そうなりやすいということです。エリヤも見てください。「私は、もうできません。私を呼んで行ってください」神様は始まりもしなかったのに。

この力を受ければ、年齢も地域も関係ありません。時空超越。これを味わえば良いのです。今日から始めて一年間だけ一度祈ってみてください。皆さん自身が驚くでしょう。皆さん自身が証拠を見るようになるでしょう。祈ります。

祈り

神様に感謝いたします。キリストが与えてくださった契約を今から味わいますように。永遠の受け継ぐことを私の受け継ぐこととしますように。永遠の作品を私の力として味わいますように。永遠の遺産として挑戦することができるように霊的な力を与えてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン